

# 大震災・復興ニュース（第17報）

平成23年8月11日  
仙台地方振興事務所水産漁港部

## 1 水産業復旧・復興に向けた対応状況（国及び県全体の動き）

宮城県内の水産物の放射性物質測定結果について

宮城県内で採取した水産物について、下記のとおり東北大学の協力を得て放射性物質の測定をしたので、その結果をお知らせします。

- 1 測定年月日 平成23年8月5日～8月9日
- 2 測定分析機関 東北大学（東北大学への協力依頼による）
- 3 測定結果 国が定めた暫定規制値を下回り、安全性に問題がないことが確認された。

放射性物質の値は採取日における値を示す。

水産物（採取日 平成23年8月5日～8日）

（単位：ベクレル/kg）

種別	採取場所	放射性ヨウ素	放射性セシウム
スルメイカ	石巻沖	不検出	不検出
ミズダコ	出島沖	不検出	不検出
キタムラサキウニ	大須浜地先	不検出	不検出
マガレイ	仙台湾	不検出	4
カツオ	太平洋（宮城沖）	不検出	不検出
アユ	白石川（白石市，蔵王町）	不検出	85

食品衛生法の規定に基づく食品中の放射性ヨウ素の暫定規制値 2,000 ベクレル/kg

食品衛生法の規定に基づく食品中の放射性セシウムの暫定規制値 500 ベクレル/kg

## 2 管内の復興に向けた動き

< 水産漁港部からのお知らせ >

管理漁港及び漁場の啓開(けいかい)作業状況

- ・ 県管理漁港の航路・泊地内の漁具や沈没した船舶・自動車等支障物の撤去作業はすべて作業終了。
- ・ 漁場の啓開作業は、5月23日から松島湾より着手し、潮位の関係から七ヶ浜沖と並行して2台の起重機船で撤去作業を行っており、松島湾漁場については、撤去後の確認作業を残して8月4日で概ねの撤去作業は終了。

また、仙台湾漁場では、6月28日から支障物撤去作業を行っているが、8月5日からは起重機船2台での作業を行っている。

水陸両用バックホウについては、7月25日から鳥の海での撤去作業を行っていたが、8月5日で完了。

## <トピックス>

### 閉上でアカガイ資源調査

8月9日(火)に閉上支所が東北大と共同でアカガイの資源調査を実施した。2回の操業で約5kgのアカガイが採取され、1m<sup>2</sup>あたりのアカガイ資源の分布密度は0.08個/m<sup>2</sup>となり、震災前と遜色ない漁獲に係者は安堵していた。

心配されたガレキも比較的少なく、8月29日に放射線測定のための再調査を行った後、9月以降の漁業再開を予定している。



調査で採取されたアカガイ

### 各浜の養殖準備作業状況

各浜では、入手した資材を使ってのノリ・カキ・ワカメの養殖準備が進み、生産者からはガレキ撤去しかしていなかった以前に比べて明らかに活気に満ちてきている。管内の種ガキ原盤投入もほとんど終了し、宮戸・浦戸・浦戸東部で若干残すばかりとなっている。



ノリ施設準備(里浜)



ワカメ施設用アンカー準備(大曲)

### 新造船建造第一号が進水

8月10日,(株)シーフーズあかまの養殖船「丸廣丸」(1.8トン)が完成し、塩釜市の水上漁港で進水式が行われた。震災後建造での進水を迎えたのは県内では同船が第一号となる。

同社では3艘の漁船を流失したが、今漁期からこの船を用いてワカメ・コンブ養殖を再開する予定である。

<造船所:大分県国東市>



進水式の様子